

令和6年11月期 随時モニタリング実施について

日 時 令和6年12月6日(金) 13時30分～15時30分

会 場 加茂野保育園 職員室

出席者 美濃加茂市・株式会社セリオ

内 容 (○:市 ●:指定管理者)

・令和6年11月期の報告

## 1. 本部及び統括エリア長の報告について

### 【本部より】

#### ●見守りカメラ設置について

11日 ひかりケーブル工事(2回目の実施日は未定)

23日 ネット開通工事

#### ●固定遊具について

遊具の点検実施。

→・大型すべり台

柵の幅が広いと指摘を受ける。現在は園芸用ネットを使用し、柵を覆っている。

・らくだ遊具

踏み台の部分が劣化して園児が手や足を挟んでしまう危険性がある。

他の園が今後、どのように対応していくか確認、市の対策をどのように進められるか教えていただきたい。また、撤去をした際に代替の遊具を設置してもらえるのか費用分担等を協議していきたい。

○らくだ遊具は修繕可能か？

●プレートを外す費用見積もりを事業者に依頼したところ、数万円かかる。他の公立園ではプレート部分に何かを巻き付けて危険がないようにしていたため、現状同じように対応している。

○大型すべり台について、公立園では過去大きな遊具を撤去し、代わりの遊具を新設したことはない。小さな遊具で、危険度判定でD判定がついたものは撤去するのが基本的な方針。

●大型滑り台の柵の幅が広いと、間に1本ずつ柵を増やすと83本増やすことになり費用がかかる。撤去して小さい滑り台にするとかリースにするということも業者から提案されたが、いずれにしても費用がかかる。また、今回の危険度判定ですぐ使用が不可能になるということではないが、子どもたちの遊び方や基礎体力も変わってきているので、見直しも必要と思っている。すぐに答えは出ないと思うが、よろしくお願ひしたい。

○公立園で大型遊具の新設の実績はない。検討中の部分もあるということなので、継続協議ということにして、経過をこのモニタリングで聞かせていただきたい。

### 【統括エリア長より】

●職員面談の内容や事故報告など随時園長より報告があり、情報共有できている。

●コドモンの登録をし、毎日配信しているドキュメンテーションを確認しており、以

前よりも園の様子が身近に感じられるようになっている。

- 幼児クラスの空き箱制作のペン立てなどクオリティが高く、次回の 12 月 18 日の訪問を楽しみにしている。
- 特に園のチーム力がすごく上がっていて、園長・副園長だけではなくチームで問題解決に向かっているというのを園長からの報告で感じる。月日の積み重ねが大事で、それが生きてきていると感じる。

## 2. 園長及び副園長による保育の様子について

- 年少クラスが自己主張の強い園児が多く、不安定になってしまう子が多い。  
担任が関わり方に対して迷いがあった為、園長と副園長よりその子を受け止めてあげるように話をすると意識が変わり、寄り添った関わりや声掛けができるようになった。随時園長・副園長が保育のフォローに入り、担任をサポートしている。
- 0、1 歳児クラスは職員が固定で 1 日入れていない為、安定しない面がある。また、子どもたちのイヤイヤ期が始まり、噛みつきはなくなったが手が出るようになった。他の保育士がローテーションでフォローに入るが、なるべくそのローテーションを同じ職員にして、安定した保育ができるように心がけている。固定で職員を 1 日配置できるようにしていきたい。
- 2 歳児のクラスの保育が安定せず、報連相に問題が生じた。  
丁寧に話をしてきたが、同じことを繰り返してしまう。その都度、伝えていくなどの配慮が必要。主担と共有しながら声掛けや業務内容等の指導も必要。

## 3. 児童の様子について

- 事故につながりかねない事象が発生したが、報連相に問題があったため、そういった時の報連相や保護者への情報共有について職員間で認識を共有した。
- 事故につながりかねない事象についての情報は昼礼で全職員に共有し、対応についても全職員の共通認識ができているか。
- 昼礼で共有している。
- 園で発生した事故につながりかねない事象については、セリオ本部へも報告して事故対策していると思うが、どのような動きになるのか。
- 事故が発生した際は、社内で定めている 5 分ルールに従って本部へ報告する。その後リスク担当に情報が上がり、市へも共有する。市からの意見も今後本部へ報告する。

## 4. 保育の質の向上について

### ① 人員体制の維持拡充

(職員採用、フリー保育士の配置、クラス複数担任制、保育補助スタッフ等の配置)

- 自己評価実施中。結果はホームページに掲載する。
- 12/1 よりポルトガル語の通訳を採用。夕方の保護者対応がスムーズに。
- 引き続き、保育士、通訳（英語）、警備員、用務員の採用に努める。
- ファミリア会議で出た意見を取り入れ、昼礼記録の共有方法を改善し、全員が同時刻に見れるようにした。また、クラスの申し送り事項の保管場所を変更し、主担の出勤前にも情報伝達ができるよう改善した。今後も不備があればアップデートしていきたい。

## ②積極的な研修受講

(子ども中心の保育理念に基づく研修、遊び中心の保育の実践方法に関する研修  
コミュニケーションと関わりに関する研修)

- 11/16 中濃ブロック研修
- 11/21、22 全国園長研修(大阪)
- 11/29 園内研修(テーマ:情報共有)  
昼礼と昼礼記録が重要な存在と認識を共有した。

## ③チームワークを高めるための取組み

(園内研修、公開保育、交流保育)

- 園内研修の実施
- 加えて、看護師による救命講習を実施予定。
- 公開保育の参加、実施  
11/22 うめ組、12/3 ゆり組 12/11 ばら組
- 他園との交流保育→今後、実施予定

## ④保護者との円滑なコミュニケーション

(保育参加の促進、園庭開放の実施、園内掲示物の充実、コドモンの活用  
登降園時の直接的なコミュニケーション)

- 保育参加について  
積極的に参加してもらっている。  
12月からは未満児の保育参加開始。
- ご意見など直接、話を聞いてほしいとのことで職員室へ相談やご意見を  
頂くケースも多くなってきている。  
寄り添いながら丁寧に対応を行うことで保護者も安心されているという印象。
- 園庭開放の実施について  
11/20に実施(参加者2名)  
アンパンマン広場にて0歳児～2歳児の園児と一緒に遊び、ドキュメンテーションの  
説明等を行う。  
次回は12/17に開催予定。
- 園内掲示物の充実  
文書箱からのポスターなどを随時、掲示している。  
クラスの壁面を廃止し、給食室前の大きな壁に学年ごとの製作物の掲示を行う。

## ⑤その他

(登降園時の見守り活動、地域との連携など)

- 地域との連携について  
11/14、15 中学校生徒さん12名が保育の職場体験  
11/15 民生委員の方3名との焼き芋会  
11/19 芋パイ作り  
第三者委員の方1名参加、芋畑の地主さんへ年長児がお届けに行く。

## 5. 保育サービスの充実について

### ①希望保育特別活動の実施

- 英会話レッスンの実施(月に2回)。年少以上を対象に、年少・年長は2クラス  
合同で30分、年長は1クラスずつ30分で実施。

## ②トヨタカレンダーに基づく休日保育の実施

- 年に数回の祝日保育であれば、園で雇用し取り組める。人件費への補助はあるか。
- 指定管理料に含まれているため、特段の補助はない。
- まず保護者へアンケートを取り需要を確認するところから始めたい。

## ③医療的ケア児保育の実施

- 園長と看護師が医療的ケアではないが医療的な配慮の必要な児童について医療機関へ今後の対応について説明を聞きに行った。対応方法について共有。
- 対応方法について、特に緊急時に確実に対応できるように職員室に掲示するなどして見える化し、職員間で共有してほしい。
- 承知した。
- 来年度からの医療的ケア児受入に向けて、市として運営協議会の設置や取扱いのルールを作っていく必要がある。児童について園として対応の記録を取ることは考えているか。
- 今後につなげるため、独自の帳票を看護師と作り、本部・市に確認いただいた様式で記録していきたい。
- 今後の対応や医療行為について協議が必要。医療的ケアの受け入れとして進めるにあたって受け入れ対象とするケア内容や対象年齢、整備補助金などの協議をお願いしたい。
- 看護師の人件費や備品、消耗品代等に充てることのできる医療的ケア児保育補助金は、市の補助金要綱でも整備済み。施設整備については、保育環境改善事業補助金の障害児受入促進事業に当たると思われる。補助基準額は100万円強。こちらは市の補助要綱や指定管理仕様書に記載されていないため、もし利用する予定があれば、それぞれ変更が必要。セリオが考える医療的ケア児の対応体制をご提示いただき、金額的にいくらになるのかを市として把握する必要があるため、人員配置も含めて想定を教えてください。また、セリオの保育所で既に医療的ケア児保育を実施している保育所のガイドライン等を提供いただけるとありがたい。
- 医療的ケア児の保育ニーズがあった時に、医師、園長経験者、学校教員経験者、健康課母子保健係職員、福祉課障がい福祉係職員をメンバーとした運営協議会のような形での検討をしている。その中で児童の集団保育可否等について主治医の意見を聞いたうえで協議をする想定だが、セリオのフローに従えば協議会で集団保育可能と判断しても、園としての受入が不可ということもありえるということか。
- ありえる。
- そういったことを避けるために、保護者の相談から協議会までの間に、園見学という形で実際に園で何日か過ごしていただくことが必要かと個人的に考えている。
- 申込から受け入れまでの流れや、保育時間、職員体制など今後ガイドラインを制定し、状況に応じて改定をしていく。
- ちょうどいい落としどころを見つけていきながら体制を作っていきたいと考えている。市でも協議を進めるが、またモニタリングの場ですり合わせをしていけると良いと考えている。

#### ④その他（児童館利用者への園庭開放、おむつのサブスクリプション）

- 園庭開放は児童館にも案内を掲示しており、先日、朝児童館に来て、園庭開放の時間だけ保育園で過ごし、また児童館に戻るといふ方がいらっしやった。
- おむつのサブスクリプションは保護者から好評のため、今後も続けていく。金銭は事業者と保護者がクレジットカードで直接やりとりしており、園としては利用枚数と在庫の管理だけをしている。管理はそこまで負担ではない。

#### ○こども未来課保育士から

##### 【4歳児公開保育の様子】

##### 1 1/2 2 年中（うめ）組 鬼ごっこ

- クラスの課題（人前で自分の思いを表現することが苦手、体を動かすことに消極的な子がいる等）を理解した保育。保育士のこだわり。
- 子どもたちが安心して思いが伝えられる環境。遊びのルールを子どもと決める。
- 子どもたちが保育士と一緒に思いっきり体を動かし遊ぶ姿が見られた。

##### 1 2/4 年中（ゆり）組 制作遊び

- 廃材や自然物等を使い、それぞれ子どもが自由にイメージしたものを作って遊ぶ。
- 子どもたちが作ったものを、保育士が受け止め認める。
- 何を作って良いか迷う子、保育士に思いを伝えられない子への援助や配慮を考える。

- 迷いながらではあるが、子どもの「やりたい」「やってみよう」を大切にしている。
- 公開保育を通してクラスの実態をしっかりとらえる機会になっている。
- 保育の振り返りがしっかりできる。
- 他園の公開保育に参加することで、新しい発見、学びがある。

##### 【園の様子】

- 年長組・・・10月から代わって担任をしている先生の様子  
環境に慣れ、子どもたちとの信頼関係もできている様子うかがえた。

##### ○保育参加について・・・お母さん先生（年長組）

普段の子ども達の姿や、園の様子を知ってもらえる機会。  
参加率はどうか？（父親・母親）

- 昨年度より増えている。両親の参加がない場合は声がけしている。
- 保護者と話す時間があるといい。
- 園庭で声がけをしている。帰るときには職員室に寄ってもらっており、そこでお話をするこゝもある。

##### ○年少組・・・個人差はあるが、全体的に落ち着き、成長が感じられた。

○未満児クラスの保育士の様子について・・・職員での協力・園として把握が必要。

○体調不良の園児の対応 ⇒ 看護師が症状を診て病院に確認。

保護者に病状等を連絡。対応がしっかりできている。

※緊急の場合・・・看護師の判断を待たず、自分で判断して動ける体制づくりも必要。

##### ○職員会議について

開催日を増やし、全職員が情報共有できる環境づくりの工夫をしている。

・次回こども未来課保育士訪問日 令和6年12月25日（水）

・次回随時モニタリング 令和7年1月8日（水）13時30分から